

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(強度計算書)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/4/8	NS2-添3-005-55	強度(計算書)(VI-3-3-3-6-2-3)	VI-3-3-3-6-2-3 高圧炉心スプレー補機海水ポンプの強度計算書	P.3	高圧炉心スプレー補機海水ポンプのボルトの強度評価について、強度評価部位を示す図ではボルト④→⑥の順で自重が大きくなっているが、使用状態における必要な最小ボルト荷重 Wm1 は④→⑥の順で小さくなっている理由を説明すること。	2022/7/22	Wm1については以下の式により求められます。 $Wm1 = \pi / 4 \times Dg^2 \times P + (\text{自重})$ Dg:セルフシールガスケットの外径 P:最高使用圧力 上記の式の通りWm1は内圧による荷重+自重の合計値であることから、一概に④→⑥の順で自重の大きき通りとはならず、Dgの値が④→⑥の順で小さくなることから、Wm1の値についても④→⑥の順で小さくなっております。	-	
2	2022/4/8	NS2-補-028改03	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(各クラス機器の強度に関する計算書)	P.57	重大事故等クラス2ポンプの強度計算について、同型のポンプで支持構造物の強度評価対象が有るものと無いものがある理由を構造の違いを踏まえて説明すること。(例:同じ縦軸ポンプである原子炉補機海水ポンプは評価対象有り、残留熱除去ポンプは評価無し)	2022/7/22	設計・建設規格 SSC-3010に従い、支持構造物とケーシングが鑄造等の工法により一体構造のポンプについては支持構造物は評価対象外としており、ケーシングに溶接された支持構造物については評価対象としております。 (例:原子炉補機海水ポンプは支持構造物がケーシングに溶接されており、残留熱除去ポンプは支持構造物とケーシングが一体構造)	-	
3	2022/5/13	NS2-添3-004-11	強度(計算書)(VI-3-3-2-2-2-3-3)	VI-3-3-2-2-2-3-3 管(可搬)の強度計算書(燃料ブールスプレイ系)	P.4	(b-2)の記載のうち、設計・建設規格と設計許容応力の関係性が分かるように説明すること。	2022/7/22 2022/10/21	島根2号機では、SAクラス3機器の強度評価は“VI-3-2-13 重大事故等クラス3機器の強度評価方法”のとおり発電用原子力設備規格(設計・建設規格(2005年版(2007年追補版含む。))JSMES NC1-2005/2007)により評価を行っていることから、評価に用いる設計許容応力は同規格「GMR-2200 荷重の組合せと許容基準」の解説に基づき、降伏点に対して5/8基準とした値を適用しています。 なお、評価に用いる設計許容応力について、2008年度版以降の設計・建設規格では降伏点に対して2/3基準とした値に見直されてはいますが、現状の5/8基準とした値を用いた方が保守的な評価となります。	-	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(強度計算書)

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～103は、NS2-他-167改02で整理済みのため省略。						
116	NS2-添3-005-06	VI-3-3-3-2-1-2-2 管の応力計算書(主蒸気系)	P.3～6	概略系統図について以下を変更しました。(耐震計算書修正の反映) ・「逃がし安全弁排気管」の記載を追加	2023/1/30	
117	NS2-添3-005-06	VI-3-3-3-2-1-2-2 管の応力計算書(主蒸気系)	P.10	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・レストレイント及びスナップの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/1/30	
118	NS2-添3-005-17	VI-3-3-3-3-1-8-2 管の応力計算書(残留熱除去系)	P.15,36	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・レストレイント及びスナップの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/1/30	
119	NS2-添3-008-02	VI-3-3-6-1-1-2-1 ダクトの強度計算書(中央制御室空調換気系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-6-1-1-2-1 ダクトの強度計算書 (新)VI-3-3-6-1-1-2-1 ダクトの強度計算書(中央制御室空調換気系)	2023/1/30	
120	NS2-添3-008-04	VI-3-3-6-1-2-2-1 管の基本板厚計算書(中央制御室空気供給系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-6-1-2-2-1 管の基本板厚計算書 (新)VI-3-3-6-1-2-2-1 管の基本板厚計算書(中央制御室空気供給系)	2023/1/30	
121	NS2-添3-008-05	VI-3-3-6-1-2-2-2 管の応力計算書(中央制御室空気供給系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-6-1-2-2-2 管の応力計算書 (新)VI-3-3-6-1-2-2-2 管の応力計算書(中央制御室空気供給系)	2023/1/30	
122	NS2-添3-008-05	VI-3-3-6-1-2-2-2 管の応力計算書(中央制御室空気供給系)	P.8	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・レストレイント及びスナップの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/1/30	
123	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	まえがき	強度計算の基本方針を明確化するため、適正化しました。(下線部参照) (旧)本計算書は、VI-1-8-1「原子炉格納施設的设计条件に関する説明書及びVI-3-2-9「重大事故等クラス2管の強度計算方法」に基づいて計算を行う。 (新)本計算書は、VI-1-8-1「原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」、VI-3-1-5「重大事故等クラス2機器及び重大事故等クラス2支持構造物の強度計算の基本方針」及びVI-3-2-9「重大事故等クラス2管の強度計算方法」に基づいて計算を行う。	2023/1/30	
124	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	目次	計算精度及び数値の表示桁等を明確化するため、「2.5 計算精度と数値の丸め方」を追記し、ページ番号を適正化しました。	2023/1/30	
125	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.1	強度計算の基本方針を明確化するため、適正化しました。(下線部参照) (旧)本計算書は、VI-1-8-1「原子炉格納施設的设计条件に関する説明書及びVI-3-2-9「重大事故等クラス2管の強度計算方法」に基づいて計算を行う。 (新)本計算書は、VI-1-8-1「原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」、VI-3-1-5「重大事故等クラス2機器及び重大事故等クラス2支持構造物の強度計算の基本方針」及びVI-3-2-9「重大事故等クラス2管の強度計算方法」に基づいて計算を行う。	2023/1/30	
126	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.2	用語の統一及び支持構造の明確化のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)上部スプレイ管は、配管サポートと一体構造で原子炉格納容器に支持される。 (新)上部スプレイ管は、 <u>上部スプレイ管サポートと一体構造であり、ドライウェル全周で支持される。</u>	2023/1/30	
127	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.2	用語の統一及び支持構造の明確化のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)上部スプレイ管案内管は、原子炉格納容器に支持された配管サポート及び原子炉格納容器貫通部に支持される。 (新)上部スプレイ管案内管は、 <u>ドライウェルに支持された案内管サポート及び原子炉格納容器貫通部に支持される。</u>	2023/1/30	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
128	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイングの強度計算書	P.2	用語の統一及び支持構造の明確化のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)下部スプレイングの配管サポートは、原子炉格納容器に支持される。 (新)下部スプレイングは、ドライウェル周方向に設置された下部スプレイングサポートに支持される。	2023/1/30	
129	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイングの強度計算書	P.2	マスキング範囲について適正化しました。(主体構造及び概略構造図に記載の上部スプレイングの直径について、マスキング範囲から除外)	2023/1/30	
130	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイングの強度計算書	P.2	支持構造及び主体構造の明確化のため、概略構造図を適正化しました。	2023/1/30	
131	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイングの強度計算書	P.3	強度計算の基本方針を明確化するため、適正化しました。(下線部参照) (旧)ドライウェルスプレイングの応力評価は、VI-1-8-1「原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」及びVI-3-2-9「重大事故等クラス2管の強度計算方法」にて設定した荷重及び荷重の組合せ並びに許容限界に基づき、… (新)ドライウェルスプレイングの応力評価は、VI-1-8-1「原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」、VI-3-1-5「重大事故等クラス2機器及び重大事故等クラス2支持構造物の強度計算の基本方針」及びVI-3-2-9「重大事故等クラス2管の強度計算方法」にて設定した荷重及び荷重の組合せ並びに許容限界に基づき、…	2023/1/30	
132	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイングの強度計算書	P.4	P.10の荷重の組合せへ $M_{SA}$ を追記したことに伴い、2.4 記号の説明へ $M_{SA}$ を追加しました。	2023/1/30	
133	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイングの強度計算書	P.4	引用元の明確化のため、Sの記載を適正化しました。 (旧)許容引張応力 (新)設計・建設規格 付録材料図表 Part5 表5または告示第501号 別表第6に定める値	2023/1/30	
134	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイングの強度計算書	P.4	引用元の明確化のため、 $S_m$ の記載を適正化しました。 (旧)設計応力強さ (新)設計・建設規格 付録材料図表 Part5 表1または告示第501号 別表第2に定める値	2023/1/30	
135	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイングの強度計算書	P.4	引用元の明確化のため、 $S_u$ の記載を適正化しました。 (旧)設計引張強さ (新)設計・建設規格 付録材料図表 Part5 表9または告示第501号 別表第10に定める値	2023/1/30	
136	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイングの強度計算書	P.4	引用元の明確化のため、 $S_y$ の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計降伏点 (新)設計・建設規格 付録材料図表 Part5 表8または告示第501号 別表第9に定める材料に定める値	2023/1/30	
137	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイングの強度計算書	P.5	計算精度及び数値の表示桁等を明確化するため、「2.5 計算精度と数値の丸め方」を追記しました。	2023/1/30	
138	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイングの強度計算書	P.6	項目名の記載にあわせ、適正化しました。(下線部参照) (旧)ドライウェルスプレイングの形状及び主要寸法を図3-1に、使用材料及び使用部位を表3-1に示す。 (新)ドライウェルスプレイングの形状及び主要寸法を図3-1に、使用材料及び評価部位を表3-1に示す。	2023/1/30	
139	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイングの強度計算書	P.6	図3-1(1)について、支持構造が分かるよう上部スプレイング配管サポート及び下部スプレイング配管サポートの詳細図を追加しました。	2023/1/30	
140	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイングの強度計算書	P.7	用語の統一のため、適正化しました。(下線部参照) (旧)配管サポート (新)案内管サポート	2023/1/30	
141	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイングの強度計算書	P.7	図3-1(1)への詳細図追加の伴い適正化しました。(下線部参照) (旧)A部詳細図、B部詳細図 (新)C部詳細図、D部詳細図	2023/1/30	
142	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイングの強度計算書	P.8	項目名の記載にあわせ、適正化しました。(下線部参照) (旧)使用部位 (新)評価部位	2023/1/30	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
143	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.9	他の強度計算書と記載を統一するため、適正化しました。(下線部参照) (旧)(3) 概略構造図を表2-1に示す。 (新)(削除)	2023/1/30	
144	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.9	引用元の明確化のため、適正化しました。(下線部参照) (旧)詳細な荷重の組合せは、対象機器の設置位置等を考慮し決定する。 (新)詳細な荷重の組合せは、VI-1-8-1「原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」に従い、対象機器の設置位置等を考慮し決定する。	2023/1/30	
145	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.10	ドライウェルスプレイ管については $M_{SA}$ が作用しないため、荷重の組合せに記載していませんでしたが、重大事故等クラス2管に考慮する荷重の組合せとして $M_{SA}$ を含むため、荷重の組合せに $M_{SA}$ を追記しました。	2023/1/30	
146	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.12	他の強度計算書と記載を統一するため、適正化しました。(下線部参照) (旧)(1) 重大事故等対処設備としての設計荷重 (新)(1) 重大事故等対処設備としての評価圧力及び評価温度	2023/1/30	
147	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.12	他の強度計算書との記載統一及び引用元の明確化のため、適正化しました。(下線部参照) (旧) 重大事故等対処設備としての評価圧力、評価温度及び死荷重は、以下のとおりとする。 a.評価圧力及び評価温度 (新) 重大事故等対処設備としての評価圧力については、既工認(参照図書(1))からの変更がないことから、また、評価温度については、VI-1-8-1「原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」より、それぞれ以下のとおりとする。	2023/1/30	
148	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.12	他の強度計算書との記載統一のため、適正化しました。(下線部参照) (旧)b.死荷重 (新)(2)死荷重	2023/1/30	
149	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.12	ドライウェルスプレイ管及びスプレイ管案内管の死荷重の表示桁を有効数字3桁としていましたが、「2.5計算精度と数値の丸め方」に従い有効数字4桁に変更しました。	2023/1/30	
150	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.12	解析モデルの概要のうち、b.及びc.について、拘束条件の明確化及び用語の統一のため適正化しました。	2023/1/30	
151	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.13	用語の統一並びに要素数・節点数及び拘束条件の明確化のため、図4-1(1)及び図4-1(2)を適正化しました。	2023/1/30	
152	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.16	図4-2(1)及び(2)について、応力評価位置を解析モデル図を用いて示していましたが、評価位置の明確化のため、概略構造に変更しました。	2023/1/30	
153	NS2-添3-009-24	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.18,19	ドライウェルスプレイ管については $M_{SA}$ が作用しないため、荷重の組合せに記載していませんでしたが、重大事故等クラス2管に考慮する荷重の組合せとして $M_{SA}$ を含むため、荷重の組合せに $M_{SA}$ を追記しました。	2023/1/30	
154	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスプレイ管の強度計算書	まえがき	強度計算の基本方針を明確化するため、適正化しました。(下線部参照) (旧)本計算書は、VI-1-8-1「原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」及びVI-3-2-9「重大事故等クラス2管の強度計算方法」に基づいて計算を行う。 (新)本計算書は、VI-1-8-1「原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」、VI-3-1-5「重大事故等クラス2機器及び重大事故等クラス2支持構造物の強度計算の基本方針」及びVI-3-2-9「重大事故等クラス2管の強度計算方法」に基づいて計算を行う。	2023/1/30	
155	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスプレイ管の強度計算書	目次	計算精度及び数値の表示桁等を明確化するため、「2.5 計算精度と数値の丸め方」を追記しました。	2023/1/30	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
156	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.1	強度計算の基本方針を明確化するため、適正化しました。(下線部参照) (旧)以下、重大事故等クラス2管として、VI-1-8-1「原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」及びVI-3-2-9「重大事故等クラス2管の強度計算方法」に基づき… (新)以下、重大事故等クラス2管として、VI-1-8-1「原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」、VI-3-1-5「重大事故等クラス2機器及び重大事故等クラス2支持構造物の強度計算の基本方針」及びVI-3-2-9「重大事故等クラス2管の強度計算方法」に基づき…	2023/1/30	
157	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.2	機器構成・支持構造の明確化のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)サプレッションチェンバスブレイ管は、サプレッションチェンバに支持される。 (新)サプレッションチェンバスブレイ管は、スプレイ管及びスプレイ管案内管で構成され、スプレイ管はサプレッションチェンバ補強リングに支持される。	2023/1/30	
158	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.2	支持構造及び主体構造の明確化のため、概略構造図を適正化しました。	2023/1/30	
159	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.3	強度計算の基本方針を明確化するため、適正化しました。(下線部参照) (旧)サプレッションチェンバスブレイ管の応力評価は、VI-1-8-1「原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」及びVI-3-2-9「重大事故等クラス2管の強度計算方法」にて設定した荷重及び荷重の組合せ並びに許容限界に基づき… (新)サプレッションチェンバスブレイ管の応力評価は、VI-1-8-1「原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」、VI-3-1-5「重大事故等クラス2機器及び重大事故等クラス2支持構造物の強度計算の基本方針」及びVI-3-2-9「重大事故等クラス2管の強度計算方法」にて設定した荷重及び荷重の組合せ並びに許容限界に基づき…	2023/1/30	
160	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.4	P.7の荷重の組合せへ $M_{SA}$ を追記したことに伴い、2.4 記号の説明へ $M_{SA}$ を追加しました。	2023/1/30	
161	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.4	引用元の明確化のため、Sの記載を適正化しました。 (旧)許容引張応力 (新)設計・建設規格 付録材料図表 Part5 表5または告示第501号 別表第6に定める値	2023/1/30	
162	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.4	引用元の明確化のため、 $S_m$ の記載を適正化しました。 (旧)設計応力強さ (新)設計・建設規格 付録材料図表 Part5 表1または告示第501号 別表第5に定める値	2023/1/30	
163	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.4	引用元の明確化のため、 $S_u$ の記載を適正化しました。 (旧)設計引張強さ (新)設計・建設規格 付録材料図表 Part5 表9値または告示第501号 別表第10に定める値	2023/1/30	
164	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.4	引用元の明確化のため、 $S_y$ の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計降伏点 (新)設計・建設規格 付録材料図表 Part5 表8または告示第501号 別表第9に定める材料に定める値	2023/1/30	
165	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.4	計算精度及び数値の表示桁等を明確化するため、「2.5 計算精度と数値の丸め方」を追記しました。	2023/1/30	
166	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.5	図3-11について、支持構造が分かるようB部詳細図を追加しました。	2023/1/30	
167	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.5	項目名の記載にあわせ、適正化しました。(下線部参照) (旧)使用部位 (新)評価部位	2023/1/30	
168	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.6	引用元の明確化のため、適正化しました。(下線部参照) (旧)詳細な荷重の組合せは、対象機器の設置位置等を考慮し決定する。 (新)詳細な荷重の組合せは、VI-1-8-1「原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」に従い、対象機器の設置位置等を考慮し決定する。	2023/1/30	
169	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.7	サプレッションチェンバスブレイ管については $M_{SA}$ が作用しないため、荷重の組合せに記載していませんでしたが、重大事故等クラス2管に考慮する荷重の組合せとして $M_{SA}$ を含むため、荷重の組合せに $M_{SA}$ を追記しました。	2023/1/30	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
170	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.9	他の強度計算書との記載統一及び引用元の明確化のため、適正化しました。(下線部参照) (旧) (1) 重大事故等対処設備としての設計荷重 重大事故等対処設備としての評価圧力、評価温度及び死荷重は、以下のとおりとする。 a. 評価圧力及び評価温度 (新) (1) 重大事故等対処設備としての評価圧力及び評価温度 重大事故等対処設備としての評価圧力については、既工認(参照図書(1))からの変更がないことから、また、評価温度については、VI-1-8-1「原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」より、それぞれ以下のとおりとする。	2023/1/30	
171	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.9	他の強度計算書との記載統一のため、適正化しました。(下線部参照) (旧)b. 死荷重 (新)(2) 死荷重	2023/1/30	
172	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.9	ドライウェルスブレイ管及びスプレイ管案内管の死荷重の表示桁を有効数字3桁としていましたが、「2.5計算精度と数値の丸め方」に従い有効数字4桁に変更しました。	2023/1/30	
173	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.9	解析モデルの概要のうち、b.について、拘束条件の明確化及び用語の統一のため適正化しました。	2023/1/30	
174	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.10	要素数・節点数及び拘束条件の明確化のため、図4-1を適正化しました。	2023/1/30	
175	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.12	図4-2について、応力評価位置を解析モデル図を用いて示していましたが、評価位置の明確化のため、概略構造に変更しました。	2023/1/30	
176	NS2-添3-009-26	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.15,16	サブレンションチェンバスブレイ管については $M_{SA}$ が作用しないため、荷重の組合せに記載しておりませんでした。重大事故等クラス2管に考慮する荷重の組合せとして $M_{SA}$ を含むため、荷重の組合せに $M_{SA}$ を追記しました。	2023/1/30	